

全国聴覚・ろう重複児施設協議会 研修実施報告

研修会名称	第4回総会及び研修会
期 日	2018年2月17日(土)～18日(日)
主 管	手と手の広場1, 2
会 場	広島市吉島福祉センター
全参加者 (施設数)	48名 (内、広島県外からの参加者は14施設／17名)
	<p>1日目 「地域で暮らす ともに生きる ー元ろう学校教員の思いー」 講師：和泉正人（元尾道ろう学校教員 尾道ろうあ協会会長）</p> <p>2日目 レポート「手と手の広場の取り組み」 西川菊美（特定非営利活動法人 広島聴覚障害者福祉会 放課後デイサービス 手と手の広場2） レポート「スケッチブックの取り組み」 梶本真佑（株式会社 D.L.S スケッチブック）</p>
内 容	<p>概要：1日目の和泉氏の講演では、まだ手話通訳が普及していない時代にろう学校の教員になった経験を通して聴覚障害者の福祉向上にご尽力なされた様子をお話しいただいた。ろう学校に在りながら手話のない・情報保障のない職場の矛盾に苦悩されていた。卒業式は口話教育の総仕上げと位置づけられていたが、90年に一人学級の生徒が手話で答辭を読み上げたいと声を上げたのを契機に、県下で式で使用される言葉は音声日本語から手話へと変わっていった。95年より広島県聴覚障害学生の集いが開かれ、ろう学校の生徒と地域の高校に通う聴覚障害生徒とが交流できる場が設けられ、参加した生徒が後にろうあ連盟に加入するなどろう者としての自覚を促す等大きな役割を果たした。退職後、福山市聴覚障害者地域活動支援センター、びんご聴覚障害者防災連絡協議会、集いの広場すまいる・びんごの設立に関わり、聴覚障害者の命と生活の安全、集まる場を築いてこられている。</p> <p>その後の意見交換会では人材育成に関して話し合ったが時間が足りず十分な議論が持てなかつたのが残念である。</p> <p>2日目は「手と手の広場1, 2」と「スケッチブック」のレポート発表。各事業所の特色が前面に出ていた発表であった。それぞれの特色を生かし、情報を交換しながら聴覚・ろう重複児たちの支援に携わる仲間同士励まし合っていきたい。</p>
次回開催地	時期：2019年2月16日～17日 主管：クラブかたつむり（東京）

